

NPO法人 人まち育て I & I (以下、I & I) では、札幌市内4ヶ所で、コミュニティファームの造成と運営のサポートをしています。

そのうちの一つ、東区の「おかだまファーム」は、高齢者のディサービス事業をおこなう「丘珠在宅総合センター」と協力して取り組んでいます。初年度にあたる今年は、センターの近くにある農家の土地を借りて、アサガオやイモ、マメなどを植えました。

近隣の児童会館の子どもたち10名ほどが、定期的に作業を手伝いに来てくれています。子どもたちは「おじいちゃん、おばあちゃんに会いたい」と、施設利用者の高齢者の方々とすっかり仲良しになつたそうです。

健康上の理由で作業に参加できない高齢者の方々



も少なくないそうですが、なかには「子どもたちの姿が見たい」と、車いすで作業の様子を見に来られる方もいます。

理事長の坂本さんは、ボランティアが参加できるコミュニティファームを福祉施設につくることの意義の一つとして「地域に施設があっても、気軽に訪ねられない。花や野菜を一緒につくることで、施設の敷居が低くなると思う」と語っています。

冬の間には、ファームづくりに参加された施設職員の方々や利用者のみなさんに感想や意見を聞いたり、東京や大阪でコミュニティファーム実践事例の調査を行うそうです。来年度は今年度の経験を活かしつつ、活動をより充実させていく予定です。

(事務局:都築)



NPO法人 人まち育て I & I (Inspiring & Initiatives)

電話: 011-640-8411

URL: <http://blog.canpan.info/i-i/>

【I & Iが支援するコミュニティ・ガーデンの場所】

- ・あけぼのアート&コミュニティセンター (中央区)
- ・前田森林公园 (手稲区)
- ・勤医協丘珠在宅総合センター (東区)
- ・北の沢ディセンター (南区)

ボランティア
募集中

イントロダクション

この会報でも何度かご紹介していますが、市立札幌病院でも、ボランティア活動の一環として、園芸に取り組んでいます。病院敷地内（屋内も含む）の植物への水やり、除草、花がら取りなどの作業があります。関心のある方は、お問合せください。

■市立札幌病院ボランティアの会 「やさしさ・ジェントル」園芸部

ボランティア
募集中

所在地: 札幌市中央区北11条西13丁目

電話: 011-726-2211 内線2281

(電話受付時間 月~金曜 9:00~14:00)

E-Mail: gentle@eagle.ocn.ne.jp

URL: <http://www7.ocn.ne.jp/~gentle/>

イベント案内やボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、事務局までご連絡下さい。

花と緑のネットワーク通信



No. 7 (2010年12月1日発行)

準備中です

STEP3~交流・体験の場づくり (11月22日)

タウンガーデナー同士のつながりをつくることも、フォーラムの大重要な目的の一つです。そこで、お茶を飲みながら話をしたり、体験や学習をしながら交流するコーナーを設けることにしました。

STEP1~夢を語り合う (10月19日)

初顔合わせとなるこの日は、自己紹介の後、「やってみたいこと」をどんどん出し合いました。講演会の講師候補者、活動発表や交流の場づくりの方法について、たくさんのアイディアがあがりました。

STEP2~講師は吉谷桂子さん (11月9日)

2回目の集まりでは、講演会の講師をどなたにお願いするかについてじっくり話し合いました。「庭づくりの楽しさを知ってもらう」「身近な庭づくりから、まちづくりを考える」ために、吉谷桂子さんに依頼することにしました。

後日、吉谷さんからご快諾いただき、「よかったです」と喜び合いました。

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム

これまでの集まりを経て、フォーラムの大まかな内容が決まりましたが、各コーナーの詳細を詰めるなど、本格的な準備はこれからです。

より多くのみなさんといっしょに「知恵」や「経験」、「アイディア」、そして「手」を寄せ合って、楽しく有意義なフォーラムをつくっていきたいと思っています。フォーラム準備会にぜひご参加ください。

(事務局:都築)

【フォーラム準備会・次回の集まり】

■12月8日 (水) 15:00~17:00

■札幌市みどりの推進課 会議室

(中央区南1東1 大通バスセンタービル1号館6階)

※参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

吉谷桂子さん
が来ます！

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム開催概要

※時間や内容は変更になる場合があります。1月上旬までにチラシ等で詳細をご案内します。

■日時: 2011年2月13日 (日) 12:00~17:30

■会場: 札幌エルプラザ (札幌市中央区北8西3)

■内容:

①吉谷桂子さん講演会 13:00~ (開場12:00)

英國園芸研究家、ガーデン&プロダクトデザイナー

②交流・学習・体験コーナー 15:30~17:30

・種の持ち寄り・交換コーナー

・ハーブを知る・楽しむコーナー

・樹木を知る・楽しむコーナー などを予定

③タウンガーデナー&花と緑のボランティア団体

「ガーデン・パネル展」 12:00~17:30

■ご参加方法

①講演会

申込時期や方法は、後日チラシにてお知らせします。

②「ガーデン・パネル展」写真募集中！

会場では、タウンガーデナーの方々や、花と緑のボランティア団体の庭や花壇の写真を展示します。

ぜひ写真またはデータをお送りください。事務局がパネルづくりのお手伝いをします。

写真の枚数は、1団体(個人)1~2枚程度。A3サイズ(297×420mm)に拡大して展示します。締切りは1月20日(木)です。詳細は後日ご案内しますが、出展のご相談などありましたら事務局にご連絡ください。

高齢者

障がい者

子ども

ボランティア

園芸と福祉～花と緑で人もまちもみんな元気に～

園芸療法ぐり～んの会

「園芸療法」とは、心身に障がいがある方に対し、園芸を利用して症状の改善、社会性や生きる意欲の回復を目的に行う治療法です。「園芸療法」を行うには、個々の症状に合わせたプログラムを作成する必要があります。園芸、医療、介護などの幅広い知識が求められます。現在、日本国内では「園芸療法」を学ぶ教育機関や団体が複数あり、「園芸療法士」の資格取得も可能ですが国家資格はなく、医療職として活用している施設はごく一部です。



札幌国際大学で「園芸療法士」の資格を取得した高橋夕カ子さんは、「園芸療法」が治療法として広く認められることを目指し、同様の資格を持つ仲間とともに「ぐり～んの会」を設立。現在、15名の会員と賛同するボランティアの方々とともに、市内2か所の施設で定期的に活動しています。

老人ホームのデイサービスでは、認知症を伴う高齢者の方々と園芸活動を通してさまざまな作業を行って

います。植物を植え、育て、収穫（味わい、飾り、手工芸に利用）するとともに、会話をしながらの共同作業やはさみ

を使う、名前を書くなど、通所者の方にとって難しくなった動作も、楽しみながら繰り返すことで、症状を改善したり、進行を遅らせるのに役立っています。園芸ならではの五感を使っての活動は、四季を感じたり過去を思い出す機会となり、通所者の方の心を開く助けとなります。また、植物の成長を見ることや収穫の楽しみは、生きがいへつながっていきます。

高橋さんたちは、常に通所者一人ひとりの表情や変化を観察し、「自分の力でできること」には手を出さず、必要な時にはあたたかく手を差し伸べます。いつも笑顔を絶やさず、自らも楽しみながら活動している「ぐり～んの会」の来訪を、多くの方が楽しみにしています。

（事務局：岩谷）

ボランティア
募集中



私も活動しています①

タウンガーデナー宿南 澄恵さん

東区のさっぽろ神経内科クリニックで看護師をされている宿南澄恵さんは、職場で園芸部をつくり活動しています。きっかけは園芸好きな職員同士のおしゃべりから。

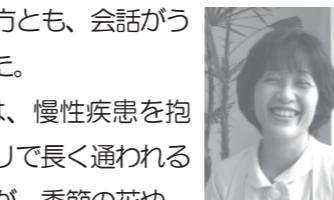
自宅で作ってきた寄せ植えをクリニックの玄関前に飾ったり、もともとあったツツジと芝生の庭の一部を、持ち寄った宿根草や果樹、野菜などで模様替えています。植栽している場所は歩道に面しているので、朝夕や屋休みに手入れをしていると、患者さんだけでなく、登下

校の小学生や散歩中の方とも、会話がうまれるようになりました。

このクリニックでは、慢性疾患を抱え、定期受診やリハビリで長く通われる患者さんも多いのですが、季節の花や、果実、野菜が実るのを楽しみにされているとのこと。ガーデニングの話をする時は、つらい症状のことを忘れて素敵な表情を見てくれるそうです。患者さんにも地域の方にも愛されているやすらぎの空間です。

（事務局：岩谷）

■活動場所 医療法人セレス さっぽろ神経内科クリニック
札幌市東区北21条東21丁目2-17



ガーデニングに携わることで、心身の健康を回復したり、生きがいを見出したりする方がいらっしゃいます。園芸を通じて、高齢者や障がい者の方々といっしょにコミュニティづくりに取り組んでいる方もいらっしゃいます。園芸は、「福祉(一人や社会の幸福)」を実現する一つの方法といえるでしょう。このような「園芸福祉」「園芸療法」にかかわる活動をされている札幌市内の団体やボランティアの方々をご紹介します。

北の沢コミュニティガーデン「みんなの丘」

「みんなの丘」は藻岩山南側、南区北ノ沢にある「札幌この実会」の敷地内にあるコミュニティガーデンです。

「札幌この実会」では知的に障がいがある方たちが、一人ひとりの個性を活かし、いきいきと働き、暮らすことができるよう、支援活動をしています。施設利用者は、企業から請け負ったラベルシール貼りや封入などの仕事、和紙や草木染めの作品づくりなど、さまざまな作業をしています。もちろん、ガーデンの手入れも活動のひとつです。

約300坪の「みんなの丘」には、ベンチやガゼボ（西洋風あずまや）を設置した花やハーブの庭と、車椅子で通ることができる通路を整備した、野菜と花を組み合わせた庭があります。約3年の歳月をかけて、施設利用者

やそのご家族、職員、地域の方など、多くの方々の手によって造られました。また、隣接する「交流多目的施設」の工事が完了し、



講習会や休憩の場としても利用できるようになりました。「たくさんの方々が気軽に訪れ、札幌この実会の仲間たちと一緒に、植物を通して楽しく交流を深めて欲しい」とディセンター所長の山本美（よしみ）さん。ともに緑を育て、収穫し、喜びを分かち合う癒しの場になるでしょう。

現在、約30名の「みんなの丘サポートーズ」がボランティア活動をしています。「みんなの丘」の手入れのほか、花の名札や、ガーデン案内ハンドブックを作るメンバーを募集しています。関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

（事務局：岩谷）

※「みんなの丘」は、「さっぽろガーデンシティ活動事業助成」などの助成対象事業です。

社会福祉法人 札幌この実会 北の沢ディセンター
所在地：札幌市南区北ノ沢1904番地
電話：011-572-2522（担当：山本）
利用時間：10:00～15:00
(見学の際は事務室に声をおかけください)
ブログ：<http://kitanosawa.jugem.jp/>

ボランティア
募集中

私も活動しています②

タウンガーデナー三好 勝恵さん

にもあった。懐かしいね」と声をかけてくれる人や、「ここに来ると元気がでる」という人、心を開いて自分自身のことを語ってくれる人もいます。三好さんは「植物の世話をする気持ちが、患者さんたちの心に届いていると感じます。もしかすると最初は、ボランティアしてあげているという意識があったかもしれないけれど、今は活動を喜んでくれる患者さんや家族の方に、私自身が励まされていると思っています」と語ってくれました。

（事務局：都築）



三好勝恵さんは、平成20年度のさっぽろ緑花園芸学校での実習をきっかけに、がん患者のホスピスケアで知られる東札幌病院の園芸ボランティアをはじめました。週1回のボランティアの際には、病院の内外にある花壇や鉢植えへの水やり・花がら取りなどをしています。

広いトウモロコシ畑が見渡せる眺めのよい屋上には、レイズドベッドや温室があり、テーブルやベンチ

も設置されています。入院患者さんの中には毎日やってくる人もいるそうです。アサガオやコスモスをみて「家

■活動場所 東札幌病院 ボランティアグループいすみ
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
TEL：011-812-2311（担当：白石典子）

ボランティア
募集中